

前回会議の振り返りと論点

- ・社会教育施設の利用変容を踏まえ、現状に即した施設整備（使用率、類似機能など）
- ・運営もセットで検討が必要（市民が支え、参加できる仕組みづくり）
- ・必要な機能・施設内容（フリースペース、居場所、フレキシビリティ、コンベンション、市民が集える機能、防災機能）
- ・連携機能としての公共交通機能
- ・人流を促すための市役所機能の誘致
- ・災害リスクと立地環境の検証（安全性と利便性とのバランス）

● これからの「公共施設」が担う役割やサービス、市民が望む使われ方、使わせ方。

- ・前回、利用者目線から、これからの公共施設に必要な機能、施設内容について様々な意見が出されました。
- ・これからの「公共施設」を考えたときに、「既存施設」のイメージ から「柔軟な発想による新しい公共施設」のイメージをより膨らませることが重要です。
- ・前回いただいた皆さんからの意見を踏まえ、これらに近い運用や、既に実践されている他市の事例を紹介、又は発表いただきますので、「公共施設」に対して柔軟なイメージを持っていただき、これからの議論をより深めていただこうと思っております。
- ・事例紹介から、自分たちのまちでどう進めていくのが良いのか、進めていく上での課題や様々な疑問点も出しながら、グループディスカッションでの参考としていただければと思います。
- ・既存施設から「不必要な機能を外す」というだけではなく、これからの施設を考えるにあたり、市民に「新しく使いたい、使わせたい機能、サービス」ってどんな事だろうか、皆さんで方向性を導き出してみてください。